

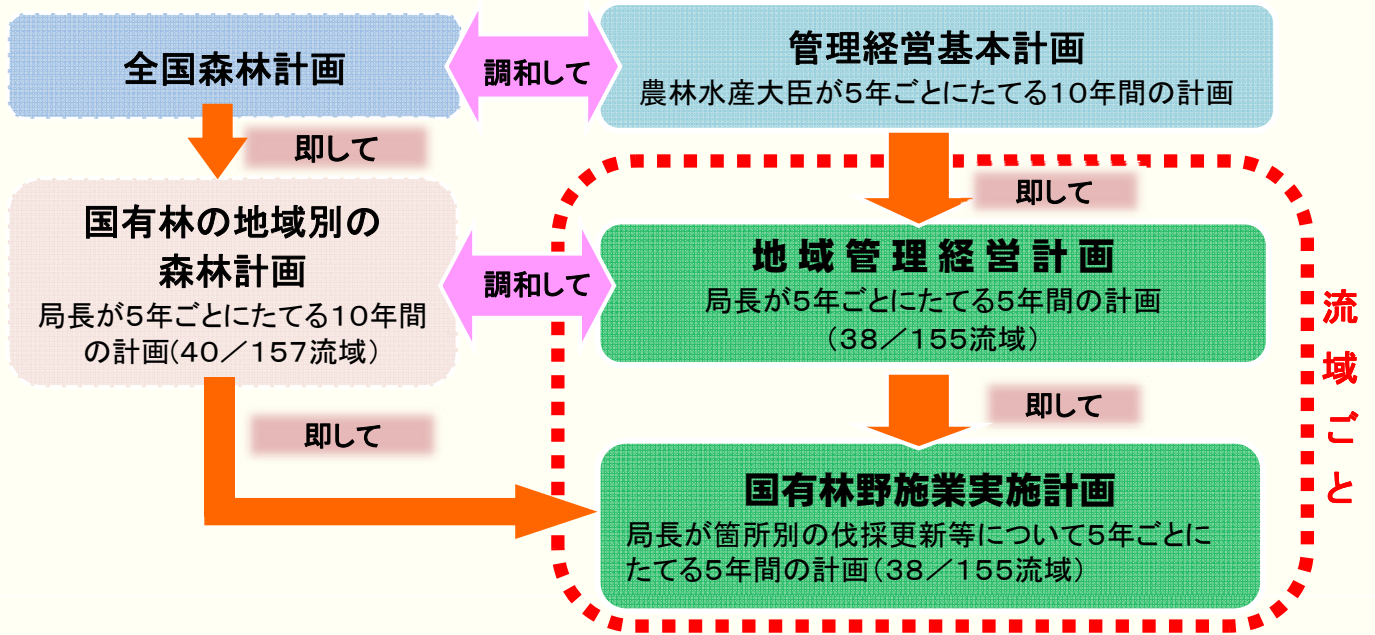
# 平成26年度策定 地域管理経営計画等の概要

近畿中国森林管理局 山口森林管理事務所

## 山口森林計画区

### はじめに

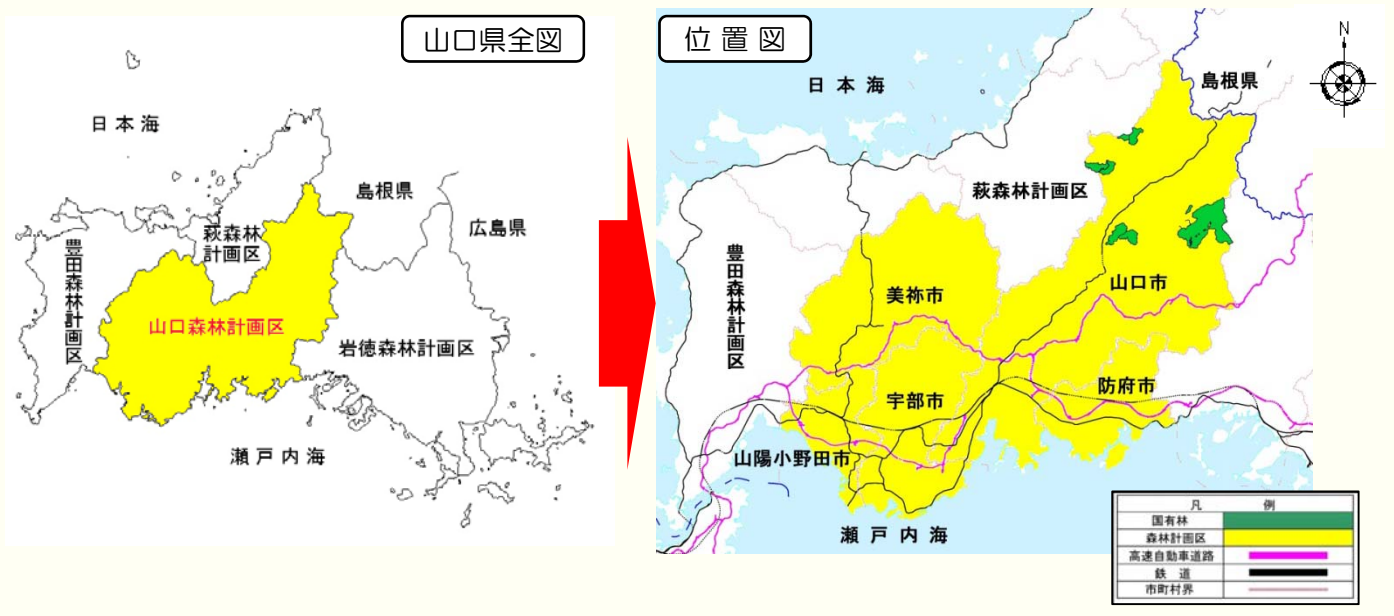
近畿中国森林管理局では、管内に38ある森林計画区について、5年毎に「地域管理経営計画」と「国有林野施業実施計画」を策定しています。



### 山口森林計画区の特徴

山口森林計画区の国有林野4,107haは、計画区の北東部に所在し、榎野川及び佐波川、阿武川の源流部に位置しています。

計画区の森林全体に占める国有林野の割合は3%で、水源涵養タイプの森林が93%を占め、水源涵養機能の発揮が期待されています。

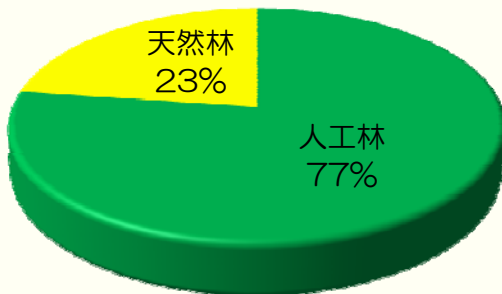


## 森林の現況

森林構成は、林地面積の77%がスギ、ヒノキを主体とする人工林で、23%が広葉樹やアカマツを主体とする天然林となっています。

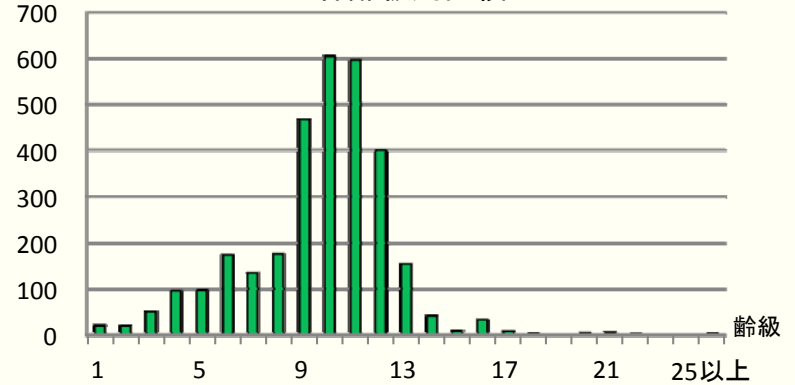
なお、人工林の4割が、間伐の対象林分となっています。

人工林・天然林別面積割合



面積(ha)

人工林年齢別面積



注・年齢級とは、5年をひとくりにし、林齢1～5年生を1年齢級、6～10年生を2年齢級、以下、3年齢級、4年齢級と続く

## 計画策定のポイント

- ◆ 滑山国有林の樹齢200年以上のアカマツ大径材は「滑(なめら)マツ」と称され、材の色合いが良く通直な銘木です。地域の貴重な資源を次世代に残すため、「滑マツ保存会」と連携し、保護・育成活動等に取り組みます。
- ◆ 地球温暖化防止をはじめとする森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため1,036ha(約10万 $m^3$ )の間伐を実施し、間伐材の有効利用に努めるとともに、173ha(約7万 $m^3$ )の主伐を実施し、木質バイオマス利用を含めた木材の計画的な供給に努めます。
- ◆ 社会貢献活動としての森林づくりに参加・協力したいという企業等の要請に応えるため、分収林制度を活用した「法人の森林」を設定し、森林整備を推進します。

滑山林木遺伝資源保存林の滑マツ








主伐(皆伐)箇所



# I 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

## 1 機能類型に応じた管理経営

公益的機能の維持増進を旨とした管理経営を行うため、次のとおり機能類型区分を行い、各機能の発揮を目的とした管理経営を行います。

山地災害防止タイプ	自然維持タイプ	森林空間利用タイプ	快適環境形成タイプ	水源涵養タイプ
<p>災害に強い国土基盤の形成、安全で快適な国民生活を確保することを重視する観点から山地災害防止機能及び土壌保全機能の発揮を第一とすべき国有林野です。</p> 	<p>生態系としての森林の重要性を踏まえた生物多様性の保全を図る観点から、生物多様性の保全機能の発揮を第一とすべき国有林野です。</p> 	<p>国民に憩いと学びの場を提供したり、豊かな自然景観や歴史的風致を構成したりする観点から、保健・文化・レクリエーション機能の発揮を第一とすべき国有林野です。</p> 	<p>騒音や粉塵等から地域の快適な生活環境を保全する観点から、快適環境形成機能の発揮を第一とすべき国有林野です。</p> 	<p>良質な水の安定供給を確保する観点から、水源涵養機能を全ての国有林野において発揮が期待される基礎的な機能と位置づけ、他のタイプに掲げるものを除く全ての国有林野です。</p> 

山口森林計画区の機能類型別森林面積

区分	山地災害防止タイプ	自然維持タイプ	森林空間利用タイプ	快適環境形成タイプ	水源涵養タイプ	合計
面積(ha)	91	70	128	—	3,818	4,107
比率(%)	2	2	3	—	93	100

## 2 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

森林計画の策定及び同計画に基づく各種事業の実施に当たっては、流域森林・林業活性化協議会等の場を通じて、府県、市町村等との密接な連携を図りながら、我が国の森林・林業の再生に貢献していくため、民有林に係る施策との一体的な推進を図りつつ組織・技術力、資源を活用した民有林の経営に対する支援等に積極的に取り組みます。

- ① 低コスト化を実現する施業モデルの普及と展開
- ② 林業事業体の育成
- ③ 民有林と連携した施業の推進

森林共同施業団地

名称	対象地・国有林・林班	面積(ha)	連携した施業の内容
柚木地区森林共同施業団地	民	18～21, 134～136, 142, 2183, 3108	効率的な路網の配置と高性能林業機械等との組み合わせによる計画的な森林施業の実施
	国	滑山2, 3, 9, 13, 14	
三谷地区森林共同施業団地	民	9～13, 15～19, 2230, 2235, 2236, 5388	//
	国	滑山24～26, 37	

- ④ 森林・林業技術者等の育成
- ⑤ 林業の低コスト化等に向けた技術開発



### 3 主要事業

伐採については、主伐で前計画に対し2倍増の173ha（約7万m<sup>3</sup>）、間伐で1,036ha（約10万m<sup>3</sup>）を計画します。

種 類		第5次計画	第4次計画
伐採総量	主伐	173ha (67,269m <sup>3</sup> )	114ha (32,013m <sup>3</sup> )
	間伐	1,036ha (104,495m <sup>3</sup> )	1,095ha (98,376m <sup>3</sup> )



種 類		第5次計画	第4次計画
更 新	人工造林	138.07 ha	76.26 ha
	天然更新	—	16.52 ha
保 育	下 刈	466.18 ha	104.27 ha
	除 伐	39.89 ha	120.57 ha
林 道	開 設	3,820 m	21,850 m
	改 良	—	1,650 m
治 山	保全施設	3箇所	9箇所
	保安林整備	—	16.32ha

- 注・主伐とは、利用期に達した樹木を伐採し収穫すること。間伐と異なり伐採した後に更新を行う。  
 ・間伐とは、育てようとする樹木どうしの競争を軽減するため、混み具合に応じて一部の樹木を伐採すること。  
 ・更新とは、伐採等により樹木がなくなった箇所において、植林を行うことや自然力の活用等により森林の世代が替わること。  
 ・除伐とは、育てようとする樹木の成長を妨げる他の樹木を刈り払う作業。通常、育てようとする樹木の枝葉が互いに接する状態になるまでの間に行う。

## Ⅱ 国有林野の維持及び保存に関する事項

### 1 森林病害虫の駆除又はそのまん延の防止

マツクイムシやカシノナガクイムシ等の森林病害虫による森林被害については、周辺民有林と連絡を密にして、被害の未然防止、早期発見及び早期防除に努めます。



### 2 保護林

原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、施業及び管理技術の発展等に特に資することを目的として「保護林」を設定しています。

種類	名称	特徴等	国有林名(市町村)	面積(ha)
林木遺伝資源保存林	滑山林木遺伝資源保存林	アカマツ、ブナ、コナラ、アカシデ、ミズナラの林木遺伝資源の保存	滑山(山口市)	51.19
	滑山林木遺伝資源保存林	アカマツ、モミ、ツガ、ウラジログシの林木遺伝資源の保存	〃	12.93
植物群落保護林	滑山モミ植物群落保護林	歴史的、学術的に価値の高い巨木等の保護	〃	3.47

注・林木遺伝資源保存林とは、林業樹種と希少樹種の保存を目的とする保護林。

・植物群落保護林とは、希少な高山植物、学術上価値の高い樹木群等の保存を目的とする保護林。

地域の貴重な資源である「滑マツ」を次世代に残すため、地元の有識者をメンバーとする「滑マツ保存会」と連携し、保護・育成活動等に取り組みます。



### 3 巨樹・巨木の保護

巨樹・巨木については、多くの関心が高まっており、本計画区には「森の巨人たち100選」に選ばれている「三本杉」があり、適切な保護管理に努めます。

注・森の巨人たち100選とは、全国の国有林を対象に林野庁が選定した、次世代への財産として健全な形で残していくべき代表的な巨樹・巨木。



## Ⅲ 林産物の供給に関する事項

### 1 木材の計画的な供給

列状間伐、路網、高性能林業機械の3つを組み合わせた低コストで効率的な間伐を推進し、木材の計画的な供給に努めます。

また、人工林資源の成熟に伴い主伐を推進することにより、木材供給量が増加することを踏まえ、安定供給や新たな需要開拓に貢献するものとなるよう効果的な供給に努めるとともに、伐採搬出についても、林地保全に十分配慮した搬出に努めます。



### 2 木の文化を支える森づくり

民有林からの供給が期待しにくい世界文化遺産等に指定されている歴史的木造建造物の修復用材の供給に備えて、ケヤキの「文化財継承林」を設定しています。

設定の目的	国有林名(市町村)	面積 (ha)
文化財継承林	滑山(山口市)	1.21



## Ⅳ 国有林野の活用に関する事項

### 保健・文化・教育的な活動への利用の推進

自然環境が優れ、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適したものと並び快適な生活環境を保全・形成する上で重要な役割を果たしている国有林野を「レクリエーションの森」として選定し、広く国民の利用に提供します。



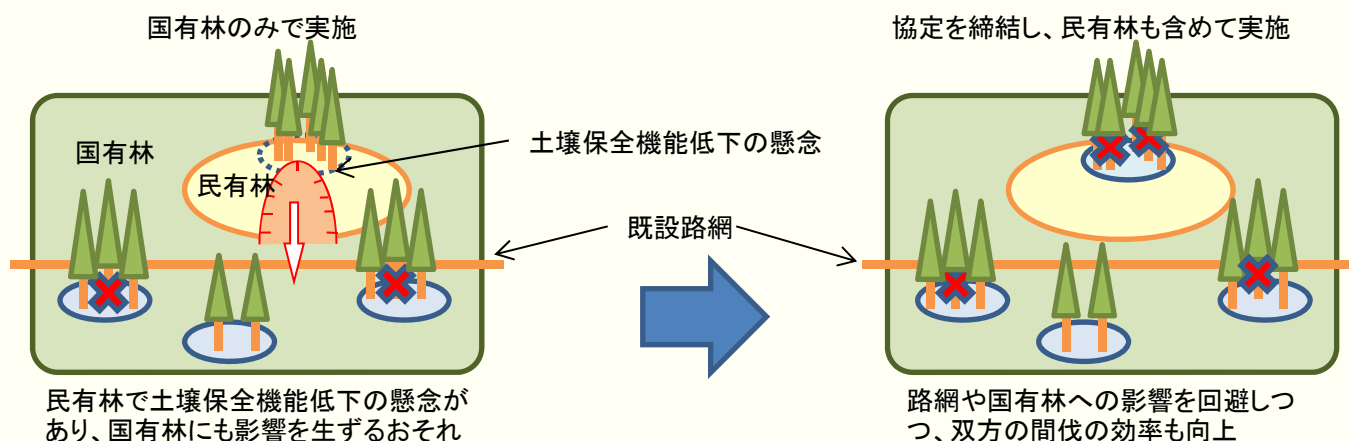
種類	名称	国有林名(市町村)	面積(ha)	既存施設の概要
風景林	滑山	滑山(山口市)	12.23	遊歩道(山口市)
	長門峡	長門峡(山口市)	104.69	なし

注：「既存施設の概要」は整備された代表的な施設の概要で（ ）は管理主体等。

## V 公益的機能維持増進協定に基づく林道の開設その他国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる私有林野の整備及び保全に関する事項

国有林野の中に介在地として所在する私有林野の所有者等と「公益的機能維持増進協定」を締結し、路網を整備し、間伐などの施業を私有林野と一体的に実施する取組を推進します。

また、私有林野の所有者等へも原則として相応の費用負担を求めるなど、合理的な役割分担の下での国有林野と一体的な森林整備及び保全の実施に向けた条件整備を進めることとします。



# Ⅵ 国民の参加による森林の整備に関する事項

## 1 自主的な森林整備等へのフィールドの提供

森林に対する関心が高まり、ボランティア活動等を通じて一般市民が森林づくりに参加する取組が増加しています。このような取組は森林整備への貢献に加え、森林や林業に対する理解の増進を図る上で重要なものです。

このため、NPOや企業等が行う自主的な森林整備等のフィールドとして、「ふれあいの森」、「社会貢献の森」、「多様な活動の森」の設定に努めます。



設定の目的	名称	国有林名（市町村）	面積(ha)
ふれあいの森	山口森林倶楽部 ふれあいの森	滑山（山口市）	10.24

## 2 分収林

社会貢献活動としての森林づくりに自ら参加、協力したいという国民や企業等の要請に応えるため、分収林制度を活用した「法人の森林（もり）」等の設定を行い森林整備を推進します。

注・法人の森林とは、企業等と国がともに森林を造成・育成し、伐採後の収益を一定の割合で分け合う制度（分収林制度）で、既存の森林を整備する「分収育林」と、植林によって新たな森林を造成する「分収造林」の2つがある。



設定の目的	国有林名（市町村）	箇所	面積(ha)
法人の森	滑山（山口市）	6	14.99

### 【本冊子に関するお問合せ先】



国民の森林・国有林

〒530-0042 大阪府大阪市北区天満橋1丁目8番75号  
林野庁 近畿中国森林管理局 計画保全部 計画課 TEL(代) : 050-3160-6700

〒753-0094 山口県山口市野田35-1  
林野庁 近畿中国森林管理局 山口森林管理事務所 TEL(代) : 050-3160-6155